

### 3 愛媛県のイメージ

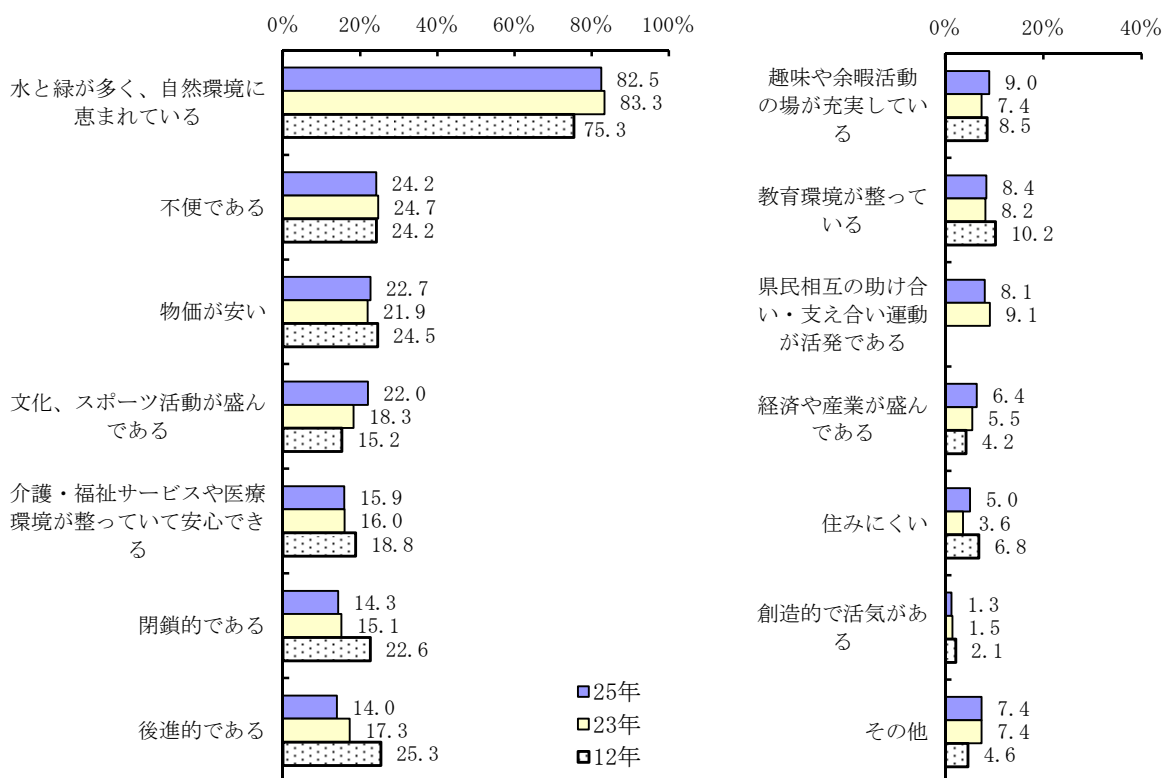
#### 問26 現在の愛媛県のイメージ

あなたは、今、愛媛県をどんなところと思っていますか。あなたのイメージに近いものを次の中から**三つまで選んで**番号を○で囲んでください。

	(複数回答)	(%)
1 水と緑が多く、自然環境に恵まれている	82.5	
2 物価が安い	22.7	
3 経済や産業が盛んである	6.4	
4 教育環境が整っている	8.4	
5 介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる	15.9	
6 趣味や余暇活動の場が充実している	9.0	
7 文化、スポーツ活動が盛んである	22.0	
8 創造的で活気がある	1.3	
9 県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である	8.1	
10 後進的である	14.0	
11 住みにくい	5.0	
12 閉鎖的である	14.3	
13 不便である	24.2	
14 その他	7.4	

愛媛県はどんなところかイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が82.5%と特に多く、以下「不便である」(24.2%)、「物価が安い」(22.7%)、「文化、スポーツ活動が盛んである」(22.0%)、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」(15.9%)の順となっている。

また、前回調査と比較すると、「文化、スポーツ活動が盛んである」と答えた人の割合が3.7ポイント増加、「後進的である」が3.3ポイント減少しているが、全体的に概ね前回と同様の回答割合であった。

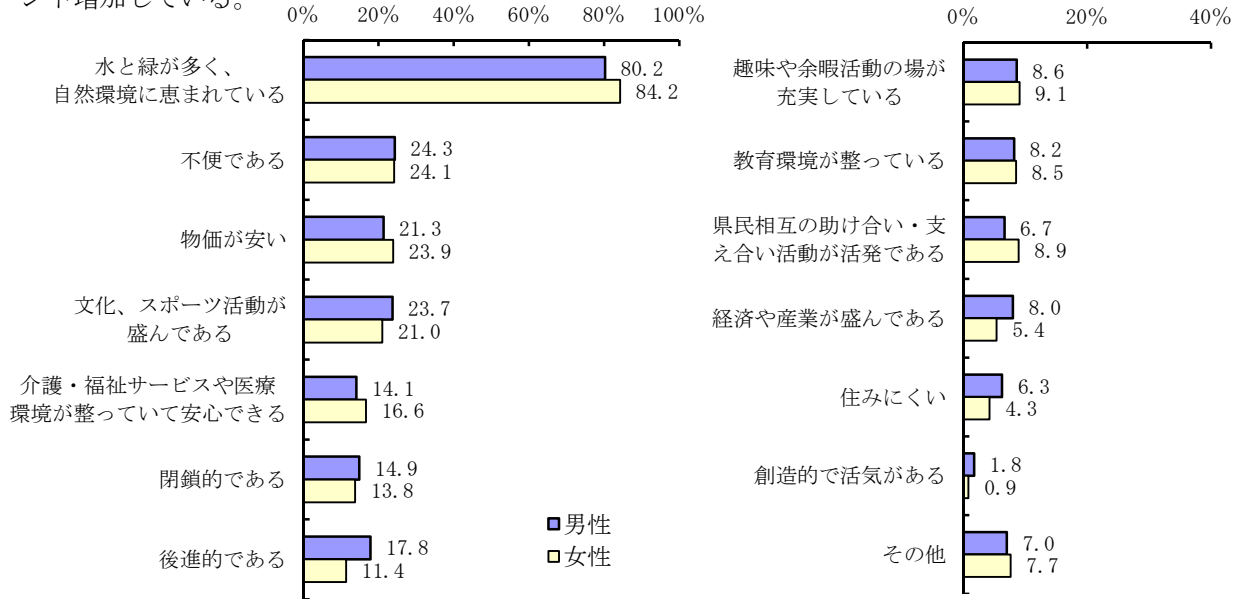


【性別】

性別にみると、男女共に「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に多くなっている。

また、「文化、スポーツ活動が盛んである」、「後進的である」などは男性の方が多く、「物価が安い」などは女性の方が多くなっている。

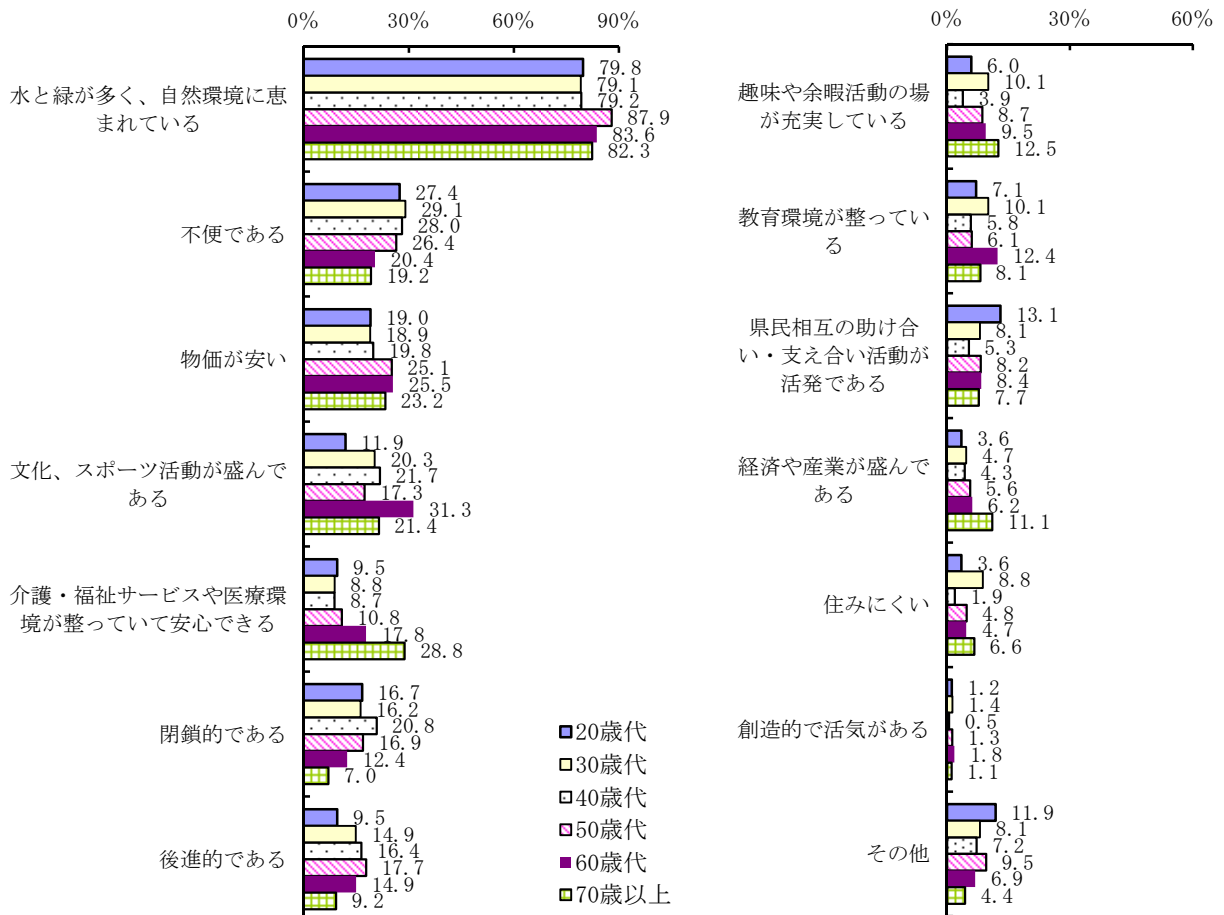
この他、前回調査と比較すると「文化、スポーツ活動が盛んである」と答えた男性の割合が5.2ポイント増加している。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が多くなっている。

また、「不便である」は50歳代以下で多く、「物価が安い」は50歳代以上で多く、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」は60歳代以上で他の年齢層に比べて多くなっている。

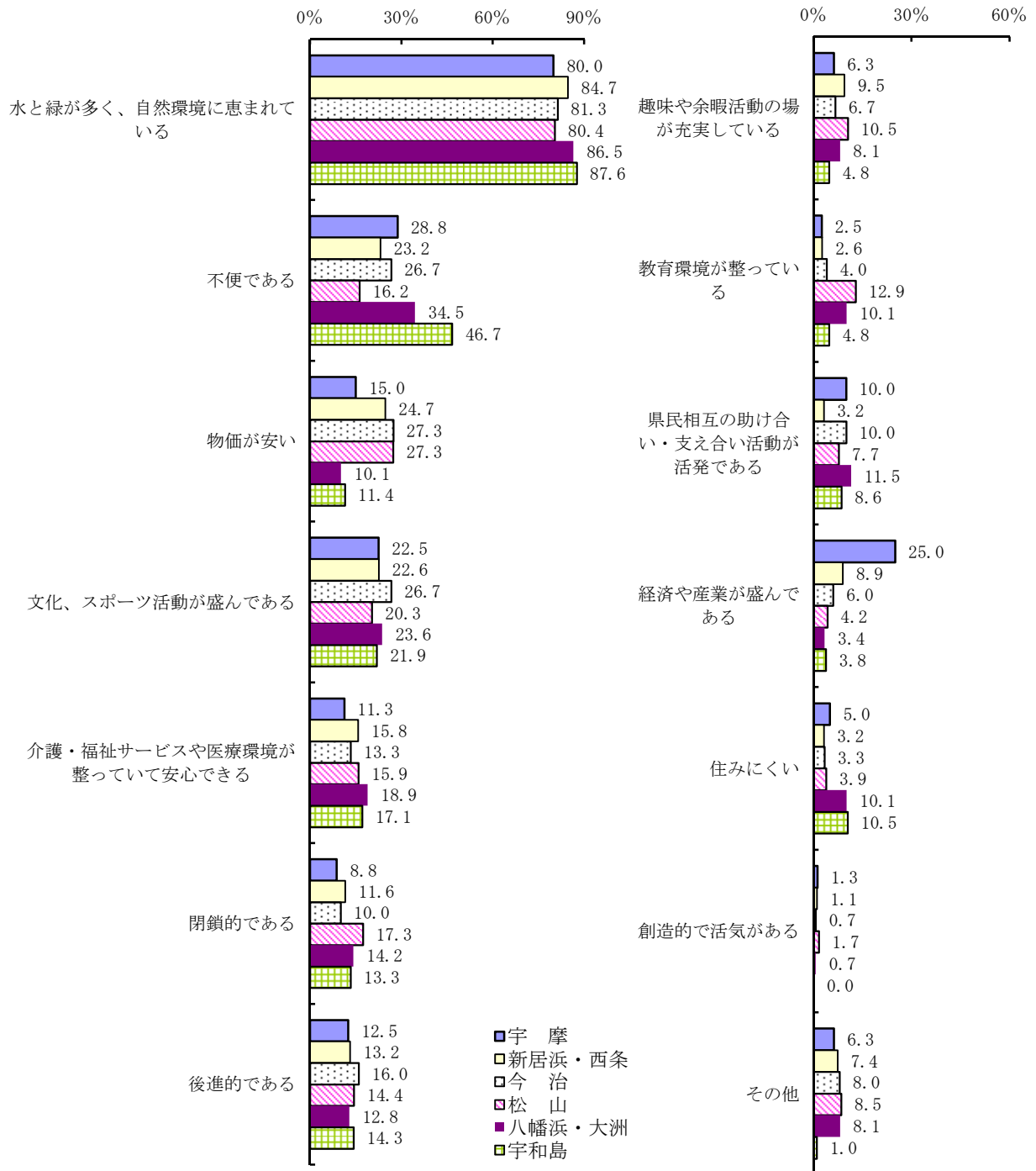


【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に多くなっている。

また、「不便である」と答えた人の割合は、八幡浜・大洲圏域及び宇和島圏域で他の圏域と比較して多く、「物価が安い」は八幡浜・大洲圏域及び宇和島圏域で少なく、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」は八幡浜・大洲圏域及び宇和島圏域で多く、「教育環境が整っている」は松山圏域で多く、「経済や産業が盛んである」は宇摩圏域で特に多くなっている。

この他、前回調査と比較すると、八幡浜・大洲圏域では「住みにくい」と答えた人の割合が4.8ポイント増加しており、宇和島圏域とともに他の圏域と比較して多くなっている。

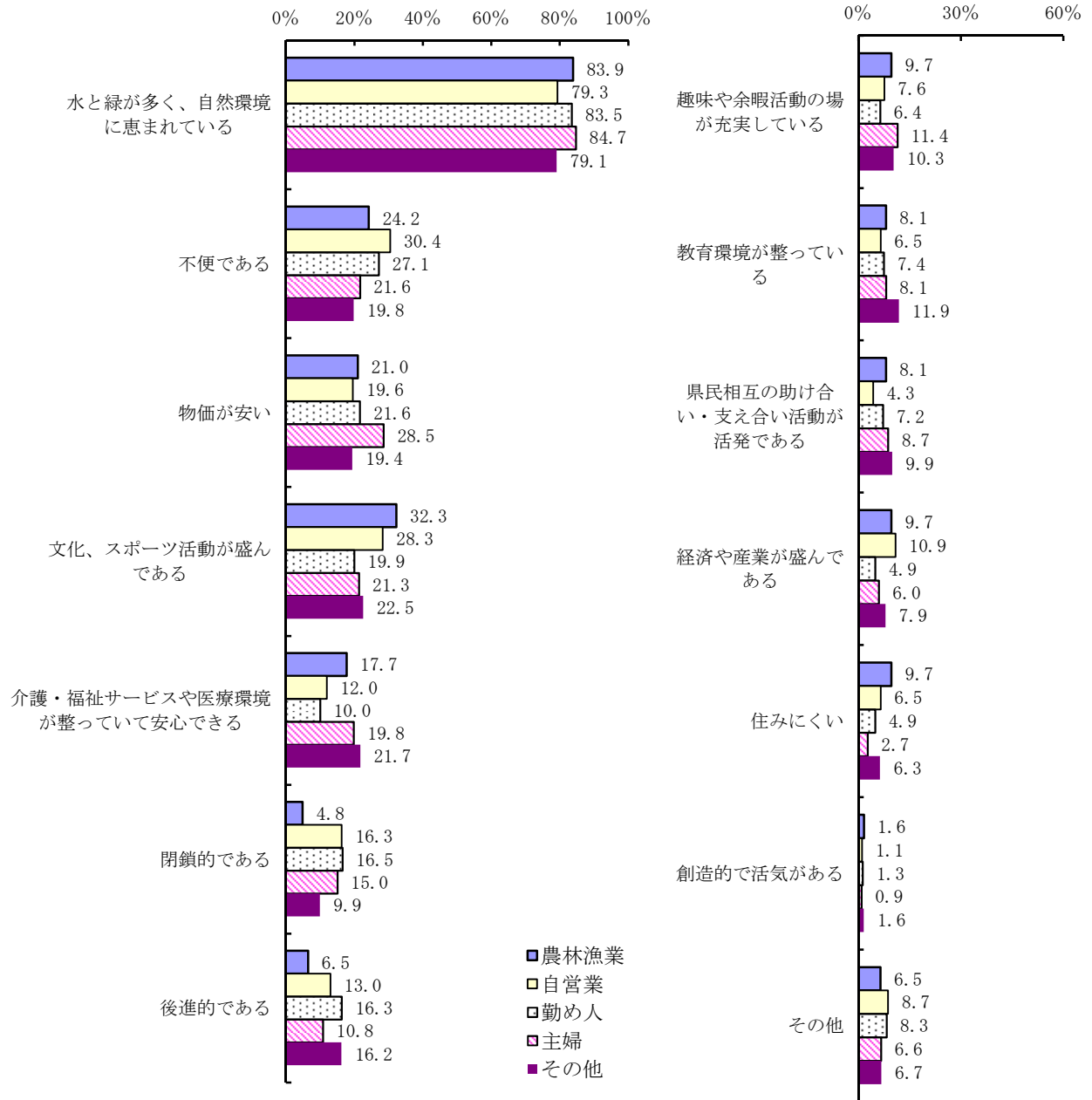


【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に多くなっている。

また、「不便である」と「閉鎖的である」と答えた人の割合は、自営業及び勤め人で他の職種と比較して多くなっている。

この他、農林漁業では、「文化、スポーツ活動が盛んである」、「住みにくい」と答えた人の割合が他の職種と比較して多く、「閉鎖的である」、「後進的である」が特に少なくなっている。



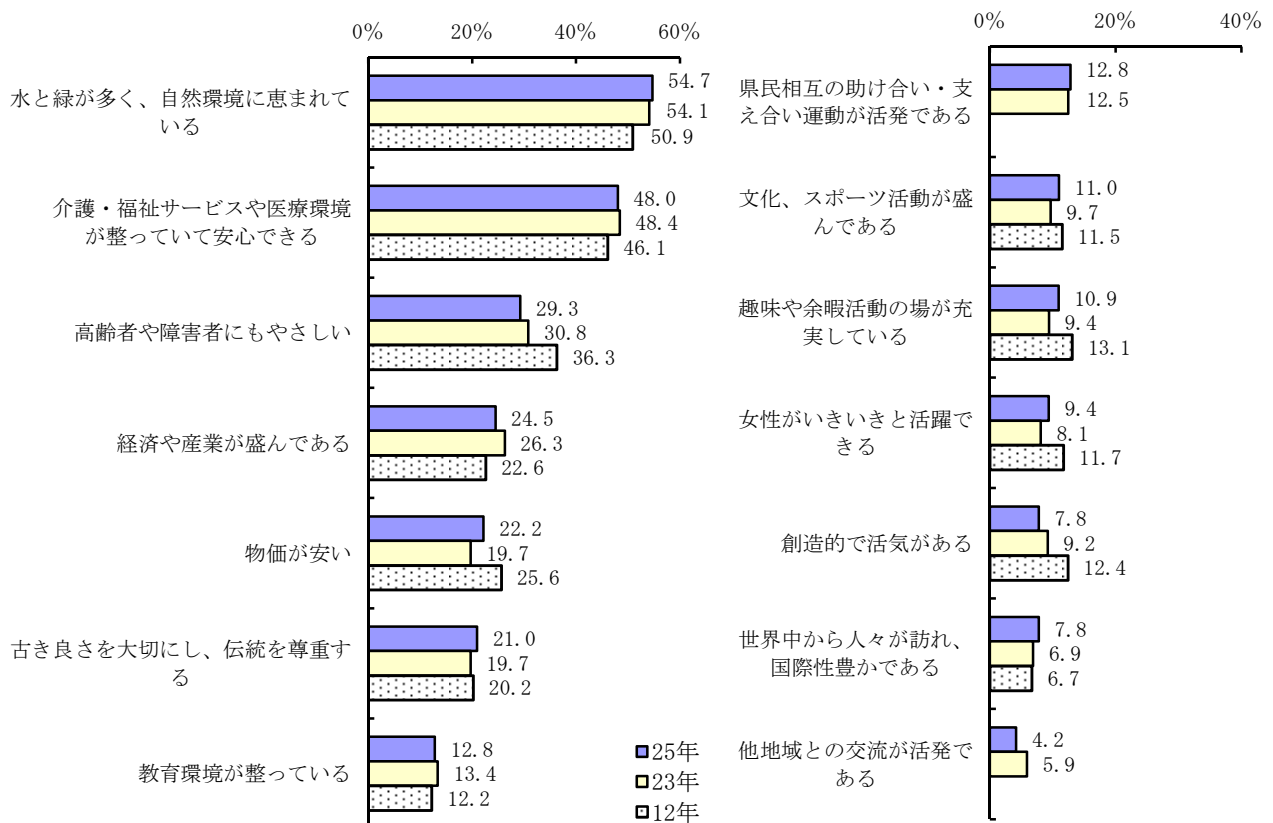
## 問27 将来なっしてほしい愛媛県のイメージ

また、今後、愛媛県のあるべき姿について、あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。

	(複数回答)	(%)
1 水と緑が多く、自然環境に恵まれている	54.7	54.7
2 物価が安い	22.2	22.2
3 経済や産業が盛んである	24.5	24.5
4 教育環境が整っている	12.8	12.8
5 介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる	48.0	48.0
6 趣味や余暇活動の場が充実している	10.9	10.9
7 文化、スポーツ活動が盛んである	11.0	11.0
8 創造的で活気がある	7.8	7.8
9 県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である	12.8	12.8
10 古き良さを大切にし、伝統を尊重する	21.0	21.0
11 他地域との交流が活発である	4.2	4.2
12 世界中から人々が訪れ、国際性豊かである	7.8	7.8
13 高齢者や障害者にもやさしい	29.3	29.3
14 女性がいきいきと活躍できる	9.4	9.4
15 その他	2.3	2.3

愛媛県の今後あるべき姿のイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が54.7%、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が48.0%で特に多く、以下「高齢者や障害者にもやさしい」(29.3%)、「経済や産業が盛んである」(24.5%)、「物価が安い」(22.2%)、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」(21.0%)の順となっている。

また、前回調査と比較すると、全体的に多少の増減はあるものの概ね前回と同様の回答割合であった。

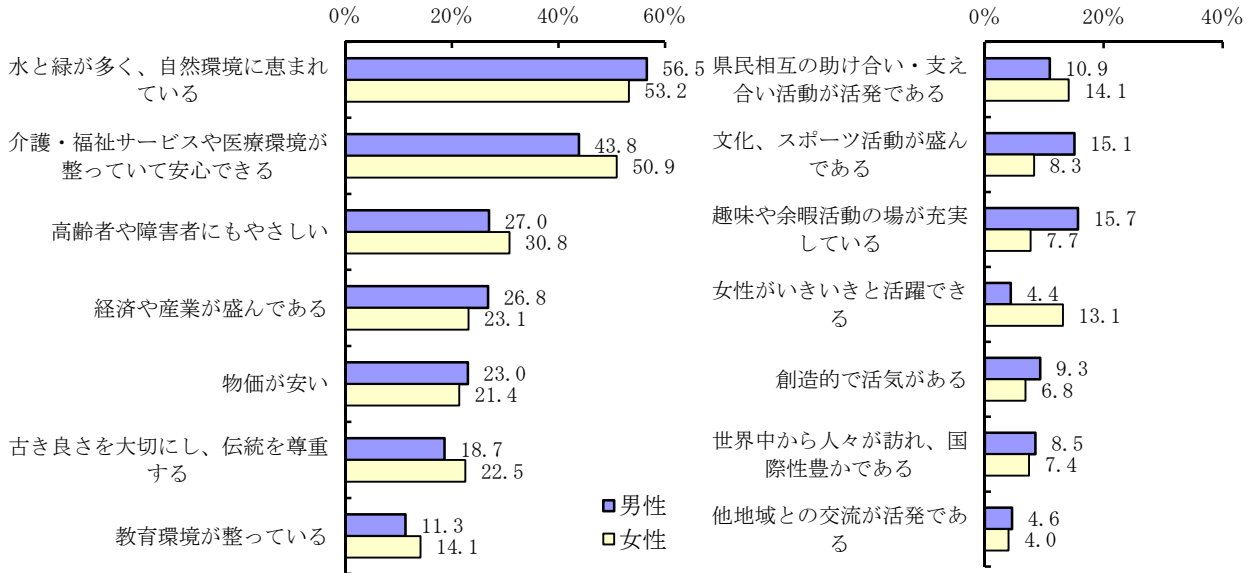


【性別】

性別にみると、男女共に「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」、「高齢者や障害者にもやさしい」、「女性がいきいきと活躍できる」などは女性の方が多く、「文化、スポーツ活動が盛んである」、「趣味や余暇活動の場が充実している」などは男性の方が多くなっている。

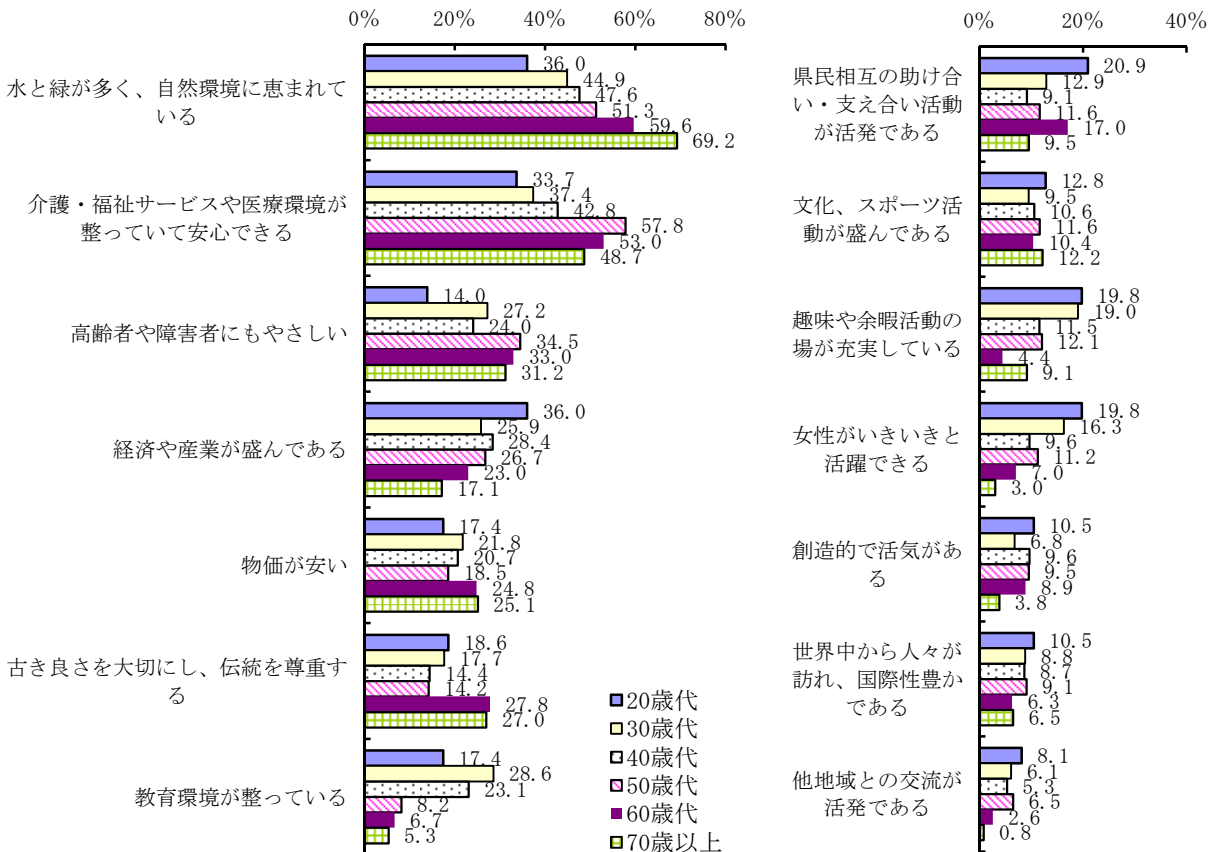
この他、前回調査と比較すると、男性において「趣味や余暇活動の場が充実している」と答えた人の割合は5.5ポイント増加している。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」、「経済や産業が盛んである」と答えた人の割合が同率で最も多く、30歳代、40歳代、60歳代及び70歳以上では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」が、50歳代では「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が最も多くなっている。

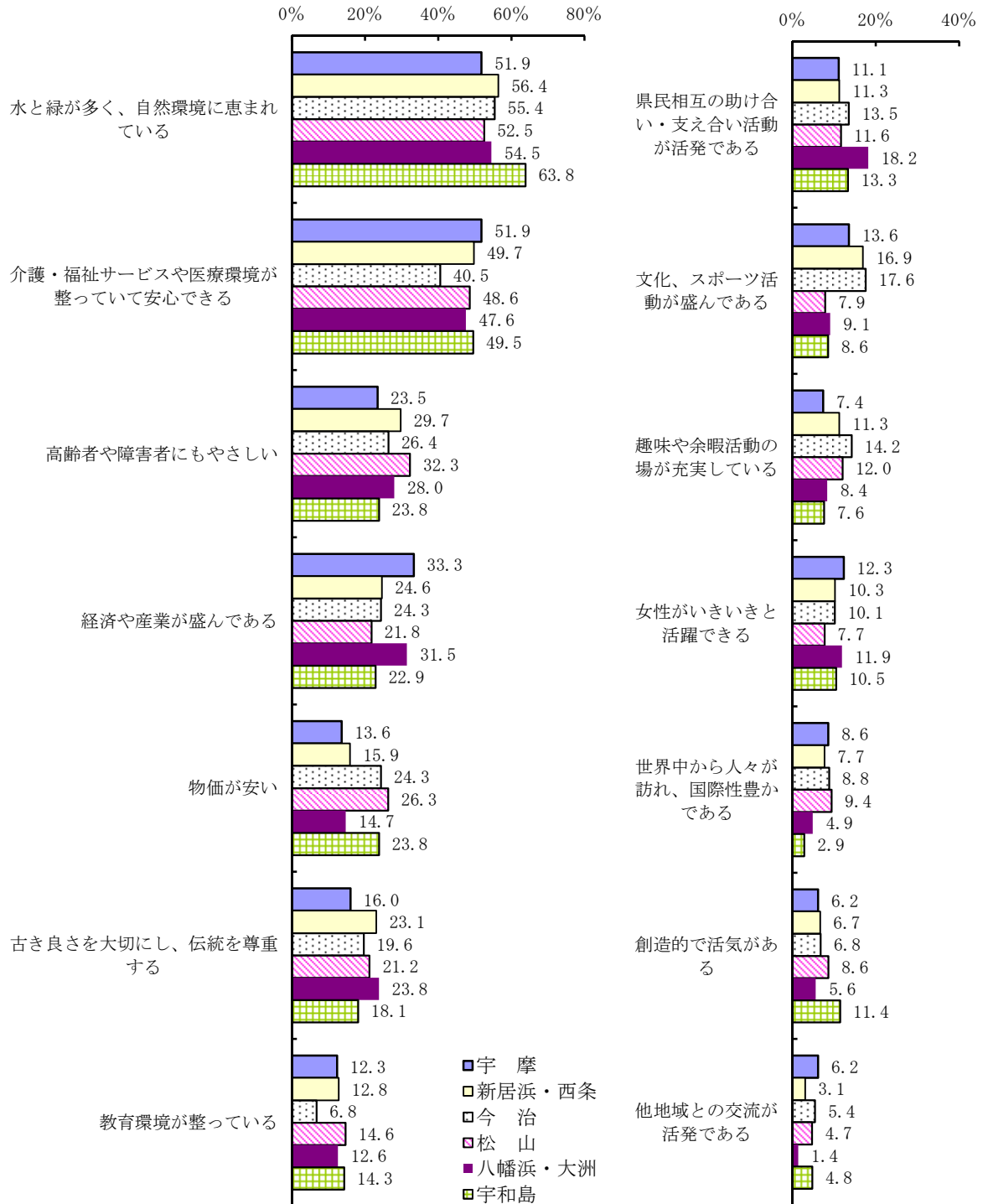
また、「経済や産業が盛んである」は20歳代で多く、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」は60歳代及び70歳以上で多く、「教育環境が整っている」は30歳代及び40歳代で特に多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が同率で最も多く、その他の圏域では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人が最も多くなっており、中でも宇和島圏域で前回調査より13.3ポイント増加している。

また、「経済や産業が盛んである」は宇摩圏域で、「県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である」は八幡浜・大洲圏域で他の圏域と比較して多くなっている。

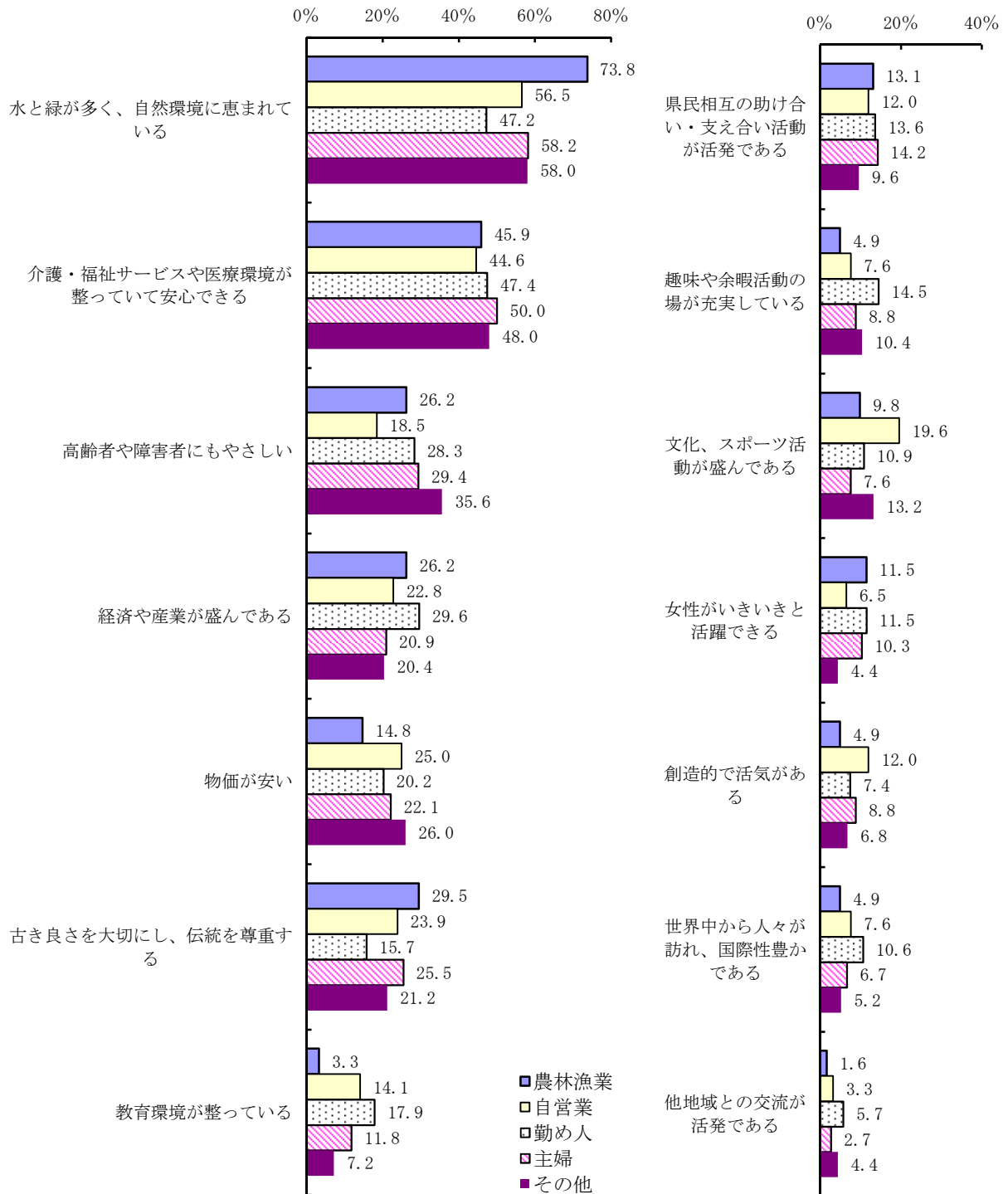


【職業別】

職業別にみると、勤め人を除く全ての職種で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっている。勤め人では「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が最も多く、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」とほぼ同率である。

また、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」は農林漁業で、「文化、スポーツ活動が盛んである」は自営業で他の職種と比較して多くなっている。

この他、前回調査と比較すると、農林水産業で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合は10.8ポイント増加し、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」は12.8ポイント増加している。





4 県政への要望  
問28 県政への要望

今後県政を進めていくうえで、あなたが特に力を入れてほしい施策は何ですか。次の(A)、(B)、(C)の中から**一つずつ選んで**番号を○で囲んでください。

(%)

(A) 産 業

1	農林業の振興	14.8
2	水産業の振興	2.8
3	商工業の振興	4.7
4	中小企業対策	12.7
5	観光の振興	13.2
6	雇用対策	35.0
7	道路整備	14.9
8	その他	1.8

(B) 生活環境

1	介護・医療サービスの充実	35.2
2	子育て支援対策	13.5
3	医療、保健衛生機能の拡充	17.8
4	ボランティア活動の活性化	1.0
5	物価・消費者保護対策	15.6
6	公害防止対策、自然環境の保全	4.2
7	上・下水道、ゴミ処理施設の整備	3.4
8	交通安全対策	2.8
9	犯罪防止対策	3.8
10	消防、防災対策	1.2
11	その他	1.6

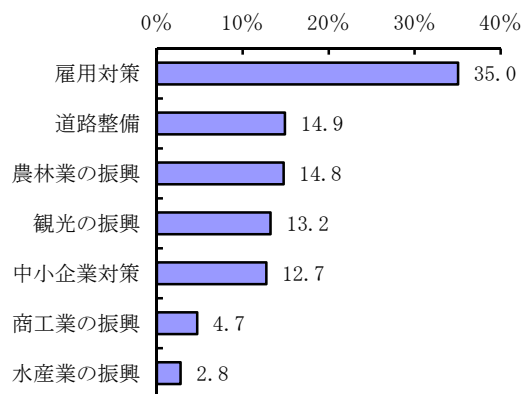
(C) 教 育

1	学校教育の充実	30.9
2	家庭教育の充実	10.0
3	社会教育の充実	21.4
4	青少年の健全育成	16.3
5	芸術、文化の振興	10.8
6	スポーツ、レクリエーション活動の助長	8.5
7	その他	2.2

今後、県政に望む施策について、(A)産業、(B)生活環境、(C)教育の3点に分けて質問した結果は、次のとおりである。

### 《産業面》

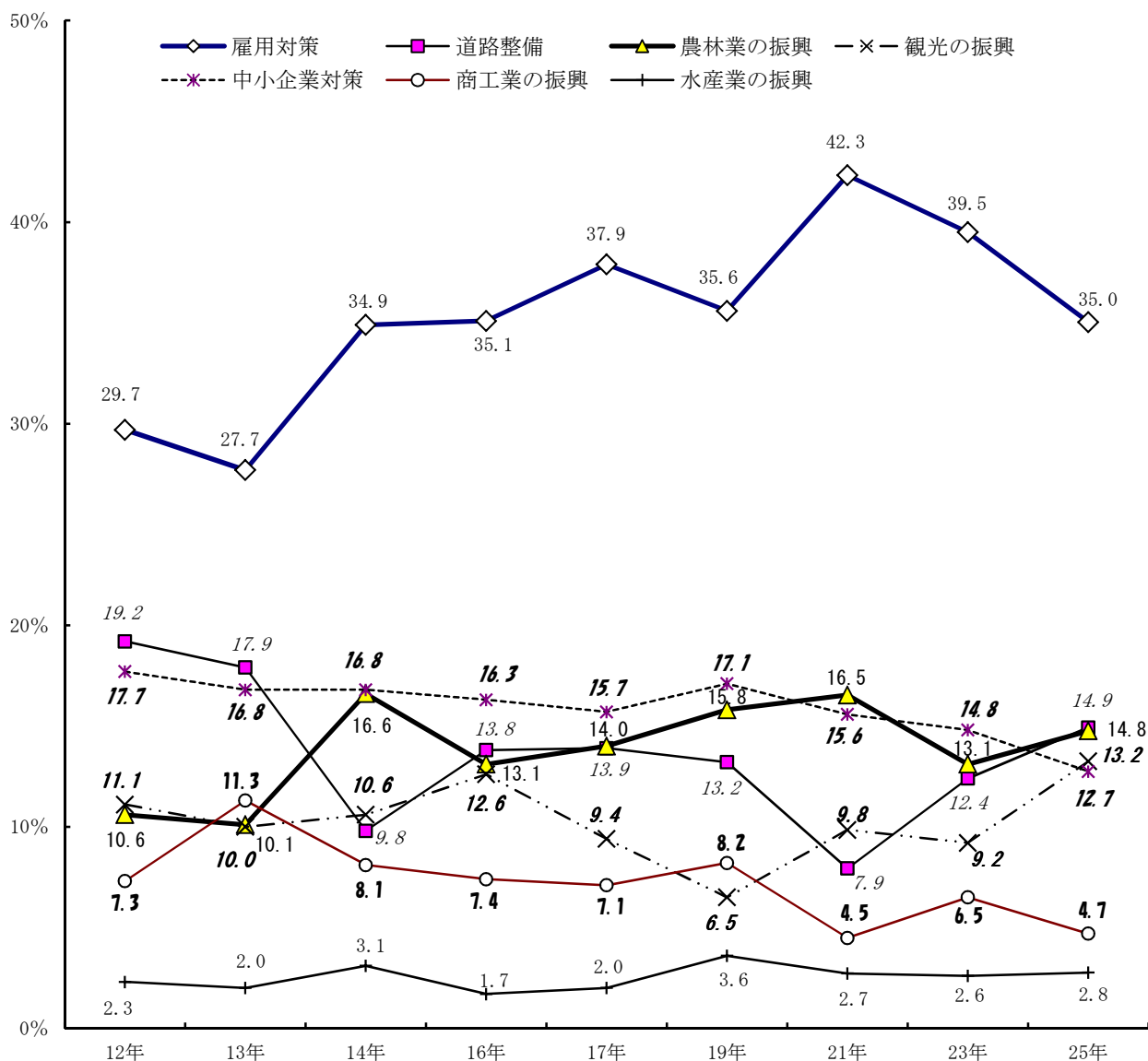
産業面で特に力を入れてほしいこととしては、「雇用対策」と答えた人の割合が35.0%と特に多く、以下「道路整備」(14.9%)、「農林業の振興」(14.8%)、「観光の振興」(13.2%)の順となっている。



### 【経年変化】

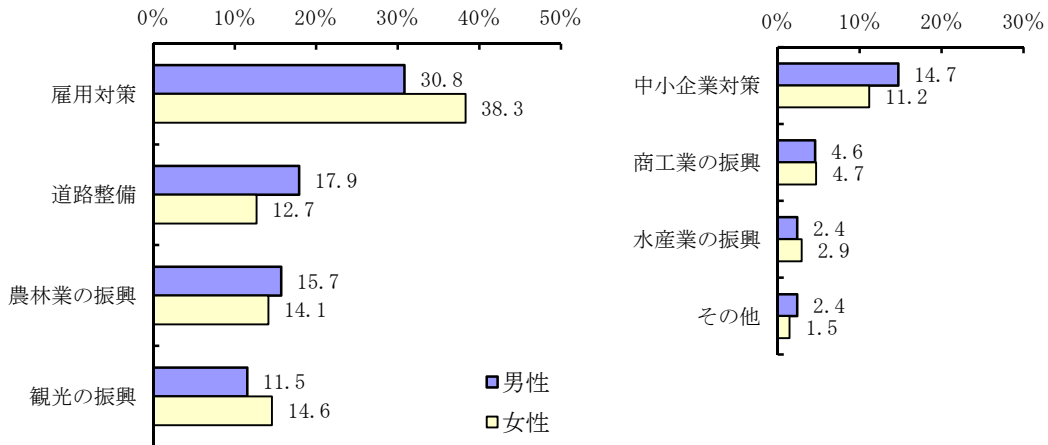
経年変化をみると、「雇用対策」と答えた人の割合は平成12年以降上昇傾向であったが、平成21年からは減少し、前回調査と比較して4.5ポイント減少している。

また、「観光の振興」と答えた人の割合が、前回調査と比較して4.0ポイント増加しているほか、「中小企業対策」は、2.1ポイント減少している。



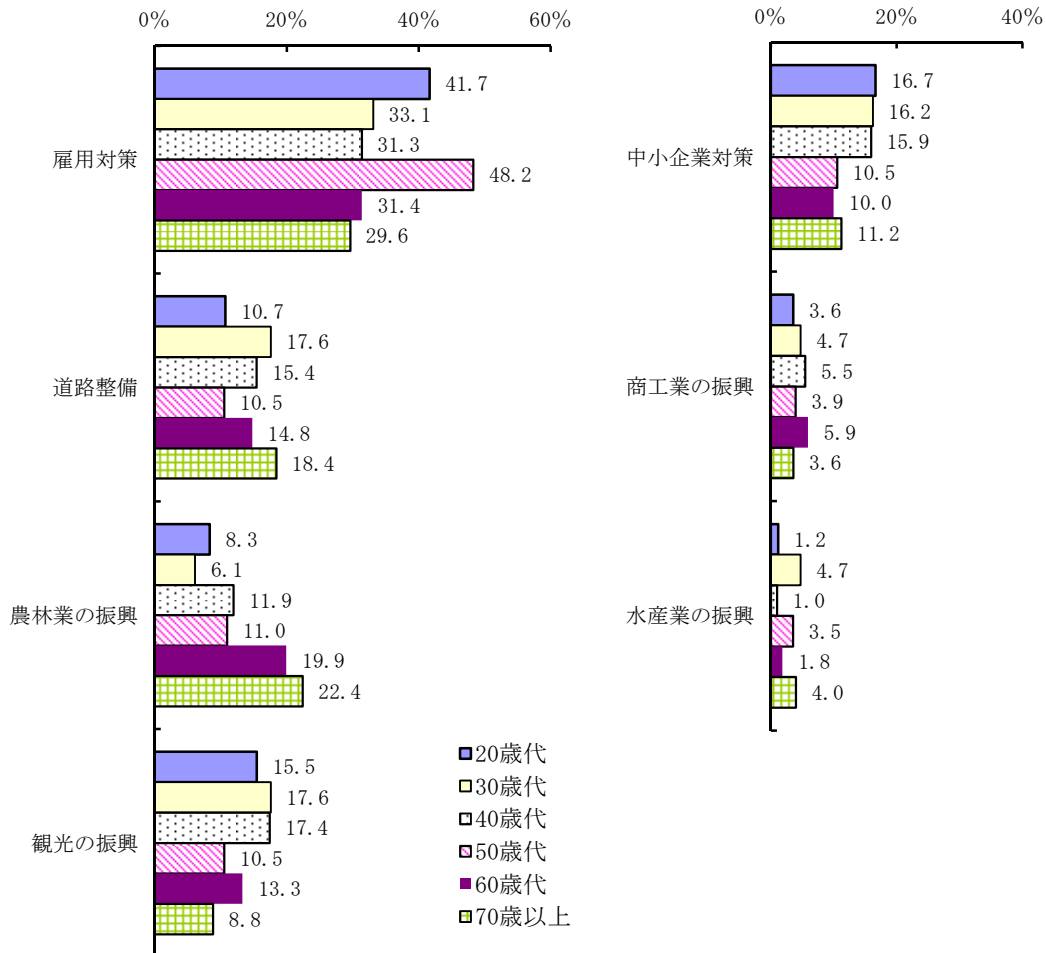
【性別】

性別にみると、男女共に「雇用対策」と答えた人の割合が最も多く、特に女性（38.3%）の方が男性（30.8%）より7.5ポイントも多くなっている。  
 また、「道路整備」及び「中小企業対策」と答えた人の割合は、男性の方が比較的が多くなっている。



【年齢別】

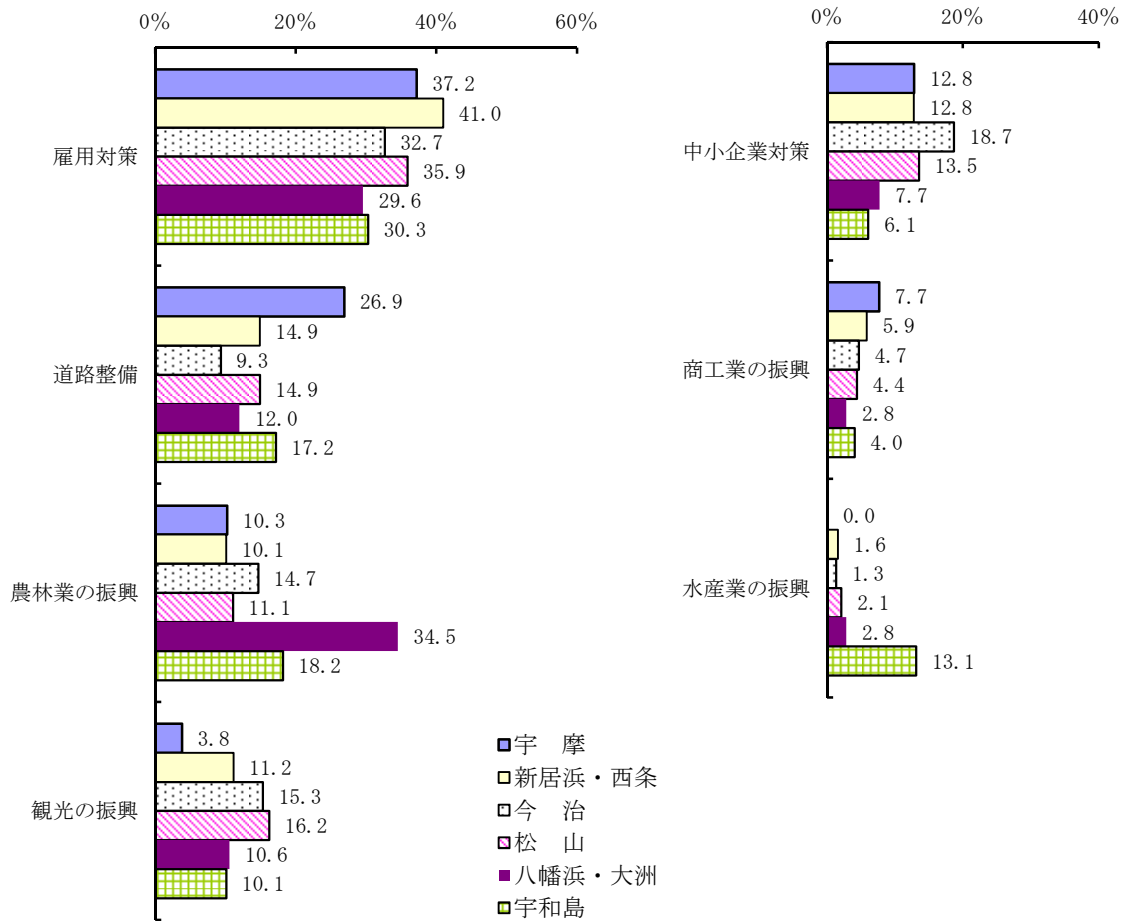
年齢別にみると、全ての年齢層で「雇用対策」と答えた人の割合が最も多くなっている。  
 また、70歳以上では「雇用対策」と答えた人の割合は他の年齢層と比較して少ないが、逆に「農林業の振興」と答えた人の割合は多い。  
 この他、前回調査と比較すると、「雇用対策」と答えた人の割合が30歳代で12.0ポイント減少し、「道路整備」は30歳代で5.3ポイント増加している。



### 【生活圏域別】

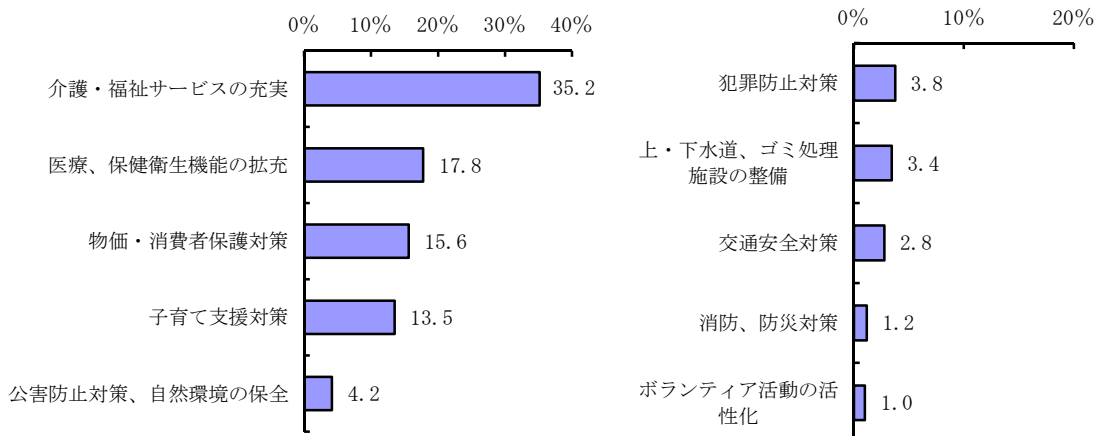
生活圏域別にみると、八幡浜・大洲圏域を除く全ての圏域で「雇用対策」と答えた人の割合が最も多く、八幡浜・大洲圏域では、「農林業の振興」が最も多くなっているが「雇用対策」は前回調査と比較して、今治圏域で10.3ポイント少なくなっている。

また、「農林業の振興」と答えた人の割合は八幡浜・大洲圏域で、「水産業の振興」は宇和島圏域で他の圏域と比較して多くなっているほか、「道路整備」は宇摩圏域で前回調査より11.7ポイント増加している。



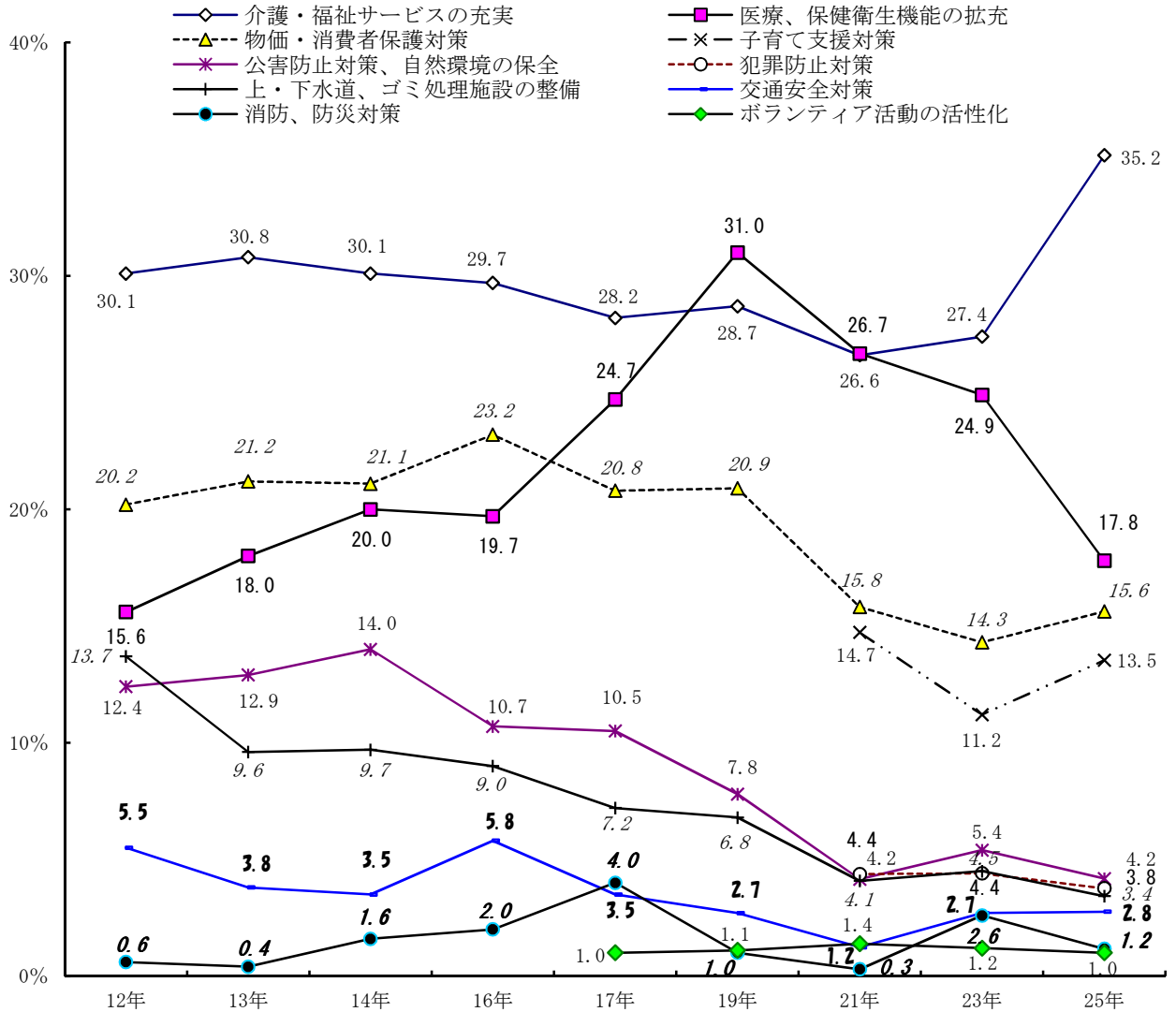
### 《生活環境面》

生活環境面で特に力を入れてほしいこととしては、「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が35.2%で最も多くなっており、以下「医療、保健衛生機能の拡充」（17.8%）、「物価、消費者保護対策」（15.6%）、「子育て支援対策」（13.5%）「公害防止対策、自然環境の保全」（4.2%）の順となっている。



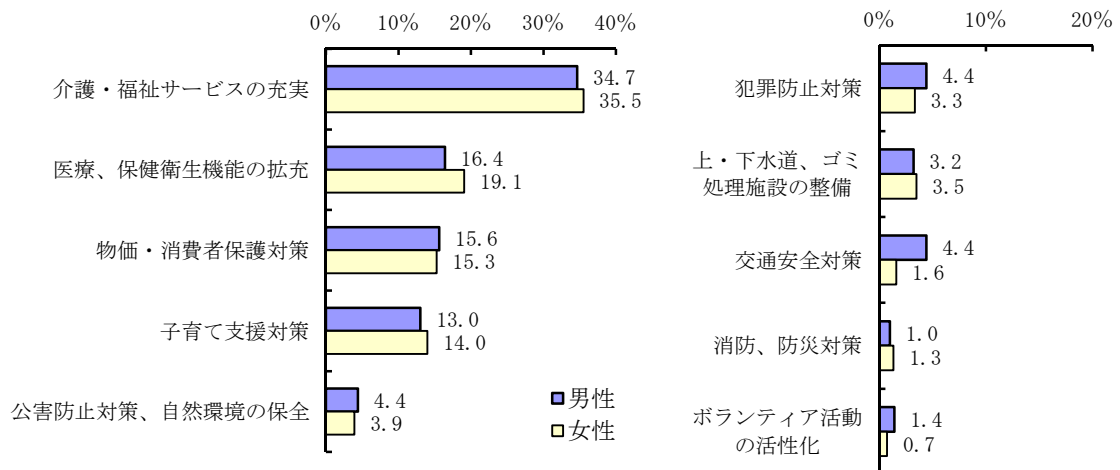
【経年変化】

経年変化をみると、「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が前回調査より7.8ポイント増加し、平成12年以降最も高くなっているが、「医療、保健衛生機能の拡充」は平成19年以降減少傾向にあり、前回調査より7.1ポイント減少している。



【性別】

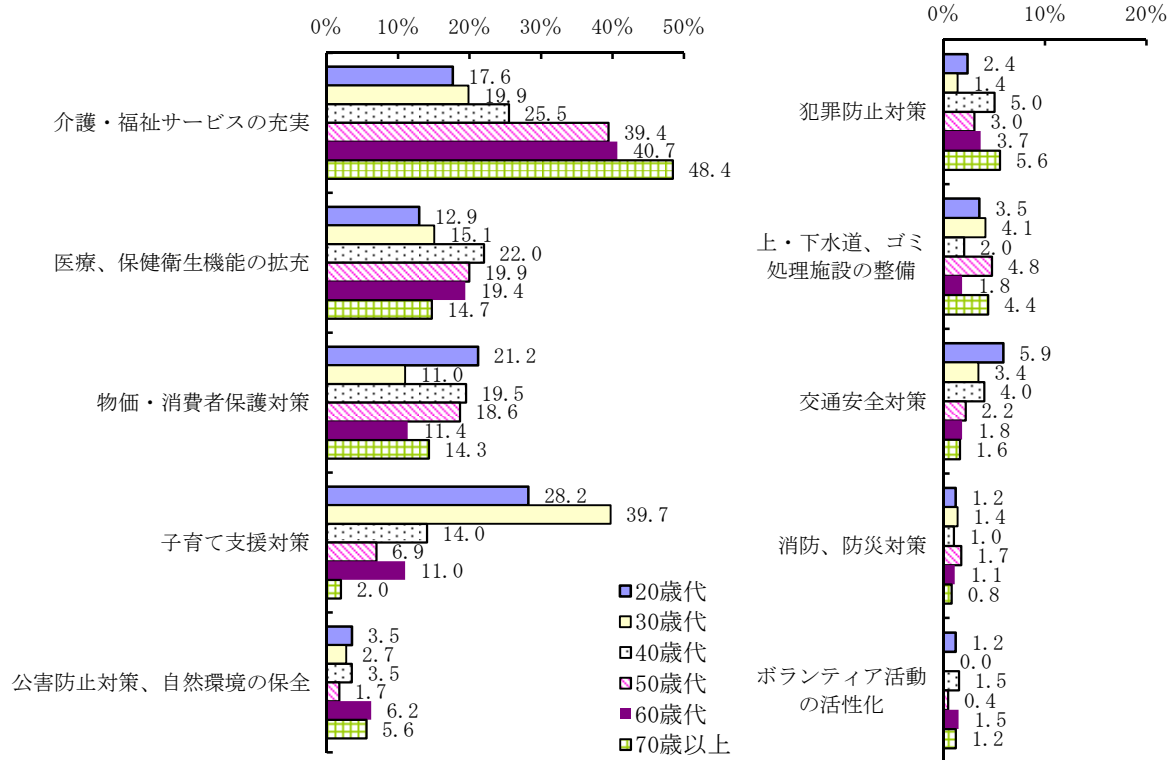
性別にみると、男性も女性も「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が最も多くなっている。また、「犯罪防止対策」、「交通安全対策」は男性の方が多く、「医療、保健衛生機能の拡充」は女性の方が多く、その他の項目は男女間に大きな差はない。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代以下では「子育て支援対策」と答えた人の割合が最も多く、40歳代以上では「介護・福祉サービスの充実」が最も多くなっている。

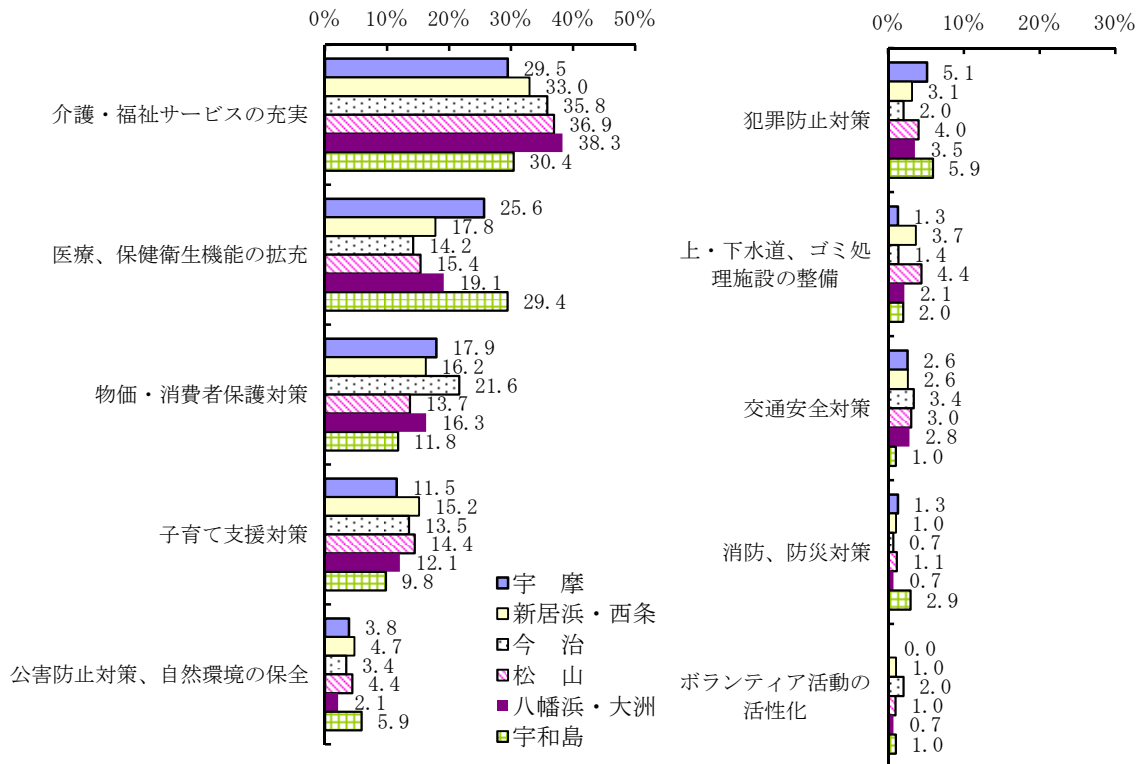
また、「公害防止対策、自然環境の保全」は60歳代以上で他の年齢層と比較して多く、「交通安全対策」は20歳代が多い。



【生活圏域別】

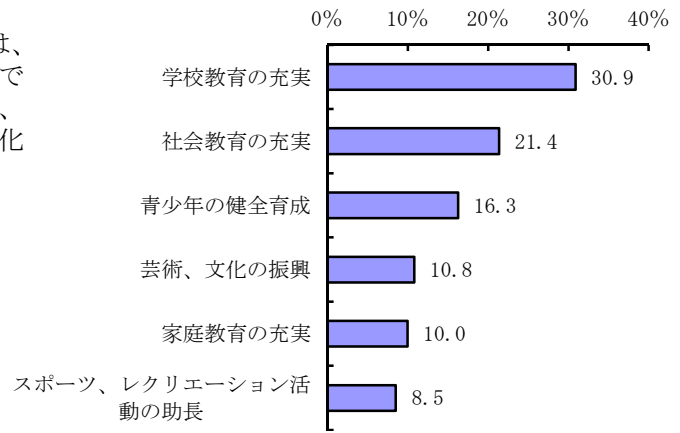
生活圏域別にみると、全ての圏域で「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「医療、保健衛生機能の拡充」及び「消防、防災対策」と答えた人の割合は、宇和島圏域で他の圏域と比較して多くなっている。



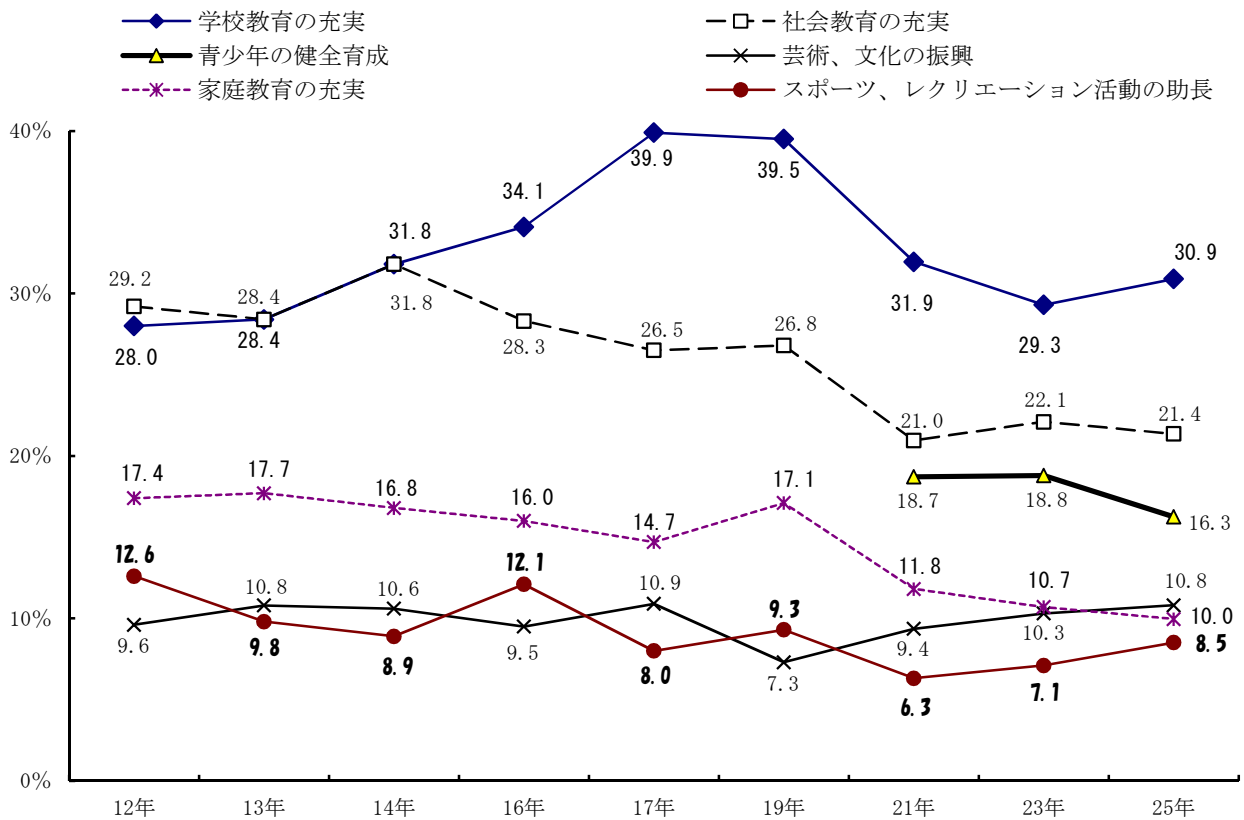
## 《教育面》

教育面で特に力を入れてほしいこととしては、「学校教育の充実」と答えた人の割合が30.9%で最も多く、以下「社会教育の充実」（21.4%）、「青少年の健全育成」（16.3%）、「芸術、文化の振興」（10.8%）の順となっている。



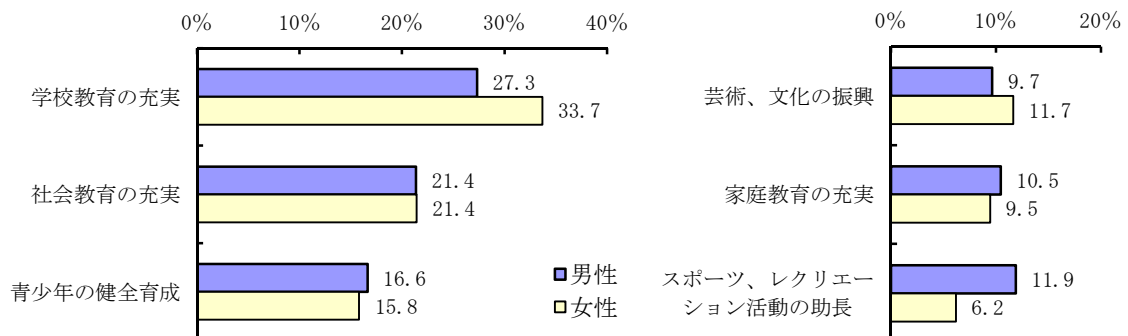
## 【経年変化】

経年変化をみると、「学校教育の充実」と答えた人の割合が平成17年調査から減少傾向であったが、今回は前回調査より1.6ポイント増加に転じている。  
また、「家庭教育の充実」も減少傾向にあり、平成12年調査と比較すると7.4ポイント減少している。



## 【性別】

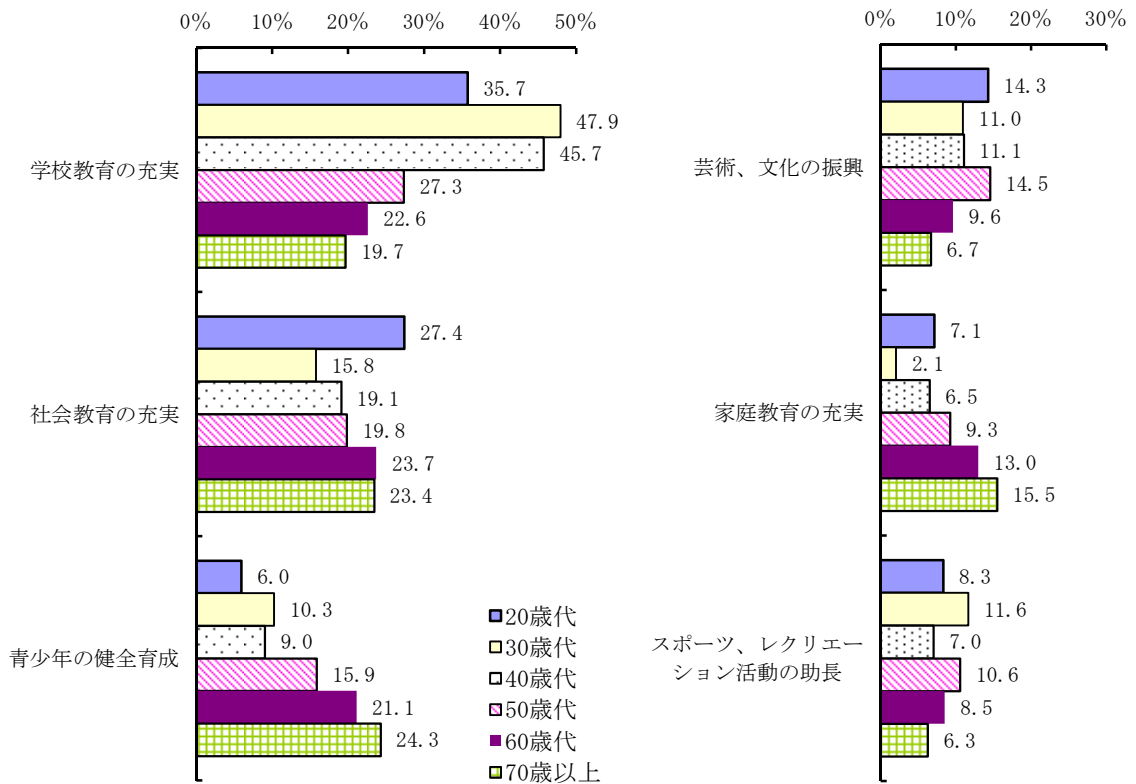
性別にみると、男女共に「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多くなっている。  
また、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」と答えた人の割合は男性の方が多く、「学校教育の充実」、「芸術、文化の振興」は女性の方が多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、50歳代以下では「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多く、中でも30歳代及び40歳代では他の年齢層と比較して特に多くなっている。60歳代は「社会教育の充実」、70歳代以上では「青少年の健全育成」が最も多くなっている。

また、「家庭教育の充実」は50歳代以上で他の年齢層と比較して多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、今治圏域を除く全ての圏域で「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多く、今治圏域は「社会教育の充実」が最も多くなっている。

また、「学校教育の充実」と答えた人の割合は今治圏域で特に少なく、「青少年の健全育成」は今治圏域及び宇和島圏域で多く、「家庭教育の充実」は宇摩圏域及び松山圏域で多い。

